



小学部6年 佐藤 春水さん
 あわあわマーブリング



シェービングフォームに絵の具を入れ、手で混ぜて模様を作り、画用紙に写し取りました。きれいな模様が出るよう混ぜすぎないように気を付けました。


小学部5年 筑間 双美斗さん
 あきのはっぱ



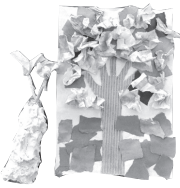
公園で集めた葉っぱをたくさん貼りました。「もみじ」をイメージして作りました。

県立越谷特別支援学校には小学部・中学部・高等部があり、越谷市・さいたま市・川口市・草加市・三郷市・八潮市・蕨市・松伏町・春日部市・吉川市の肢体不自由の障がいを持つ児童生徒が通っています。

県立越谷特別支援学校のホームページはこちら




小学部4年 白井 稜久さん
 夢の木



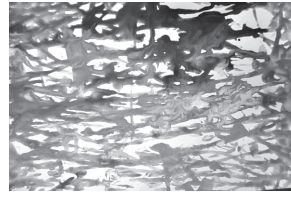
手の形をくりぬいた木には「夢の花」が咲いています。たくさんの夢をつかむことを願って、紙を破る音や感触、そして色染めを楽しみながら作品を作りました。

小学部4年 山本 泰我さん
 すいぞくかん



自分で作りたい海の生物を作りました。地底の海そうや貝なども貼り付け、海の中で魚が泳いでいるようにしました。特に赤と黄色の大きな魚がお気に入りです。

小学部4年 三橋 果林さん
 ころがし絵



好きな青や水色、黄色の色をえらびました。ボールの動きをよく見て、上下、左右に動かして描きました。

市長コラム 「価値ある未来を、共に」



政策室 問合せ ☎982-5112 ☎981-5392

令和3年度施政方針演説その②
 (広報よしかわ4月号の続き)

障がい者福祉

●障がいを持つ方々を対象に行ったアンケート調査の結果をふまえて「障がい者が愛着のある吉川市で親亡き後も安心して暮らしていくためのサポート基金」を設立し「障がい者就労」と「グループホーム」の課題解決に向けた取り組みを進めてゆきます。

●令和2年度からスタートした「市役所における障がい者雇用」においては「短時間就労の可能性」も検討し、さらなる障がい者雇用を図ってゆきます。

子供達へ

●東中学校のトイレ改修に続いて、今年度は「栄小学校と旭小学校のトイレの改修」を夏休みから開始する予定です。

●冬の時期、真っ暗な道を一人で帰る遠方の子供達の安全を守るために「スクールバスを試験的に運行」します。スクールバス運行には、集合や同乗などさまざまな課題があり、地域、保護者との連携が必須です。今回はそうした課題に対するチャレンジという点で試験的運行となります。

●幼児教育・保育無償化制度の対象外となっている「幼稚園類似施設」に就園している子供達へ「経済的支援」を行います。



市制25周年

●令和3年は吉川が町から市になって25周年にあたります。25周年記念誌として刊行した「吉川むかしばなし第2集」や新たに発行する市勢要覧を活用し、吉川市の歴史や魅力を市内外に広く伝えます。

●マカオのパラリンピックホストタウン登録記念を兼ねた「市制25周年記念オリジナル切手シート」も制作します。

むすびに

小さな声、声なき声にしっかりと耳を傾けた事業、長い時間をかけて準備を重ねてきた事業が今年度は多く並びます。そうした事業を、市民の皆さんと共に推進することにより「価値ある未来」を創り出せるよう、令和3年度も職員一同、力を尽くしてゆきます。

※共働 市民と行政が課題を共有し、解決に向け共に動くこと。市長として私が掲げる理念の一つ。